

機関番号	整理番号
00000	000000

平成31年度（2019年度）研究成果公開促進費（学術図書）計画調査

平成XX年XX月XX日 1版

審査区分・ 区分内番号	審査区分		区分内番号	
			(番号) 000	
			(番号) 000	
			(番号) 000	
応募者 氏名	(フリガナ)			
	(漢字等)			
所属機関				
部局				
職				
刊行物 の名称				

学術図書出版人X

著者・著作権者の主たる者

著者・著作権者の合計人数		人		
著作権者	氏名	所属機関	部局	職名

計画図書出版部

編者の主たる者

編者の合計人数	人		
氏名	所属機関	部局	職名

計画期間終了

刊行経費等について

「紙媒体を含む」か 「電子媒体のみ」かの別 和・欧・その他の別			
判型	判		
ページ数	ページ		
発行部数	市販用 部	その他 部	合計【C】 部
刊行経費等 「紙媒体を含む」	直接出版費 (税込)【A】	定価(税込)【B】	卸売価格(税込) (卸売価格 1部あたりの原価)
	円	円	円
	一部あたりの原価 (【A】 / 【C】)	応募上限額 (【A】 - {【B】 × 0.7 × 0.5 × (【C】 × 0.6)})	刊行経費の補助要求額
円	円	円	
刊行経費等 「電子媒体のみ」	直接出版費 (税込)【A】	応募上限額 (【A】 × 0.8)	刊行経費の補助要求額
	円	円	円
出版社等への原稿渡し日			
発行予定年月日			
出版社等名			

翻訳・校閲経費等について

翻訳・校閲対象図書・論文			
ページ数	ページ		
翻訳・校閲対象図書・論文 の著者・著作権者 の著者・著作権者	著者・著作権者の 合計人数	著者・著作権者 代表者氏名	
人			
翻訳・校閲対象図書・論文 の編者	編者の 合計人数	編者 代表者氏名	
人			
和文400文字1枚原稿用紙換算枚数	枚		
翻訳後の原稿予定枚数	枚		
校閲原稿予定枚数	枚		
翻訳・校閲経費	翻訳経費	円	校閲経費 円
	翻訳・校閲経費合計	円	翻訳・校閲経費の補助要求額 円
		円	円
翻訳・校閲期間	~		
刊行経費の応募年度			

翻訳者・校閲者について

氏名	翻訳者・校閲者の別	職歴・研究歴	1. 主要著書・論文 2. 主要業績
			1.
			2.
			1.
			2.
			1.
			2.

<p>本年度の学術図書における 複数応募の理由</p>	
---------------------------------	--

学術図書出版部

1 著者（编者）の主要著書・論文・研究歴等

本欄には、著者（编者）の次の点について過去から年次順に記述してください。

- ① 主要著書の題名、出版社等名、及び発行年
- ② 主要論文名、掲載された雑誌名、及び発表年
- ③ 主要職歴及びこれまでの主な研究内容

なお、著者（编者）が多数のため、書ききれない場合は、代表して何名かの著者（编者）について、収まる範囲で記述してください。

※おおむね半頁以内で記述してください。（上限1頁）

学術図書出力システム

2 刊行物の内容（概要）

本欄には、当該刊行物の内容についてできるだけ具体的に記述してください。
なお、本欄は、審査を行う上で重要な欄ですので、内容が的確に把握できるよう、十分検討の上記述してください。

※おおむね半頁以内で記述してください。（上限1頁）

学術図書2
計画調書出力用紙

3 目次

本欄には、当該刊行物の目次の項目を列記してください。

※おおむね半頁以内で記述してください。（上限1頁）

学術図書出版センター

4 刊行の目的及び意義

本欄には、当該刊行物を刊行するに当たって、特に次の点について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

- ① 刊行の目的、意義及び学術的価値
- ② 当該年度（又は翌年度）に刊行する意義及び学術的価値
※当該年度：平成31年度、当該年度翌年度（平成32年度）
- ③ 本科研費が必要な理由及び科研費の交付を受けられない場合の状況等

※1頁以内で記述してください。

学術図書4

5 本刊行物が学術の国際交流に対して果たす役割

本欄には、当該刊行物の刊行が、学術の国際交流に対して果たす役割について記述してください。
特に、翻訳・校閲の上、刊行する場合は、本刊行物を広く海外に提供することの目的及び意義について、必ず記述してください。
なお、学術の国際交流を目的としていない場合は、「該当しない」と記述してください。

※おおむね半頁以内で記述してください。（上限1頁）

学術図書出版センター